

認定看護師の  
活動について

# 皮膚・排泄ケア 認定看護師の活動 について

救命救急センター 副看護師長 今若 育穂

皮膚・排泄ケア認定看護師とはどのようなことをする看護師だろう？と思われる方も多いと思います。皮膚・排泄の「皮膚」とは主に、①褥瘡(床ずれ)ができる危険がある方には褥瘡ができないようにする援助を行い、褥瘡が既にできている方に対しては、早く治るために援助を行う。②手術後の傷が早く治るように傷に対する処置の検討・実施。③胃瘻・腸瘻の周りの皮膚が赤くなったり、ただれたりすることに対して処置の検討・実施。④下痢による肛門周囲の皮膚がただれたりすることへの処置の検討・実施等があります。また皮膚・排泄の「排泄」とは主に、①ストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造る前から造った後の日々の生活全てにおいて、困ったこと気になること等への関わり。②尿が漏れる・便が漏れることにおいて相談を受け対応等があります。

私が皮膚・排泄ケア認定看護師となり8年が経ちました。毎週木曜日に認定看護師の活動としてストーマ(人工肛門・人工膀胱)外来や褥瘡回診を行っています。

私が認定看護師の資格を取得したいと思ったきっかけは、褥瘡患者さんの傷が少しでも早く良くなるために援助ができれば嬉しいという思いからでした。実際研修学校で半年間研修を受ける中で、当院でのストーマを造られた患者さんへの退院後のフォローが全く行えていない現状と患者さんの思いなどを知り、ストーマ外来の必要性を強く感じるようになりました。そして資格取得の翌年から、ストーマ外来を開催し今年で7年目になります。毎週木曜日の午前中に予約制で行っています。現在では当院を退院された患者さんを中心に、他院からの紹介患者さんなども受診されています。ストーマ外来を行いながら患者さんとお話する中で、私が患者さんから教えていただく日々の生活での便利な方法なども多くあります。また、木曜日の午後からは、入院患者さんの皮膚トラブルなどの相談をDr. や看護師から相談を受けたり、褥瘡回診を行ったりしています。

褥瘡回診は、皮膚科医師を中心に、栄養士、薬剤師、理学療法士、病棟看護師と多職種で行い、お互いが専門的知識で検討し、対応することで深い褥瘡でも良くなっていったり、治ったりすることも多くあります。



これからも患者さんが少しでも安らかに、また皮膚トラブルを起こすことなく楽しんで生活が送れるようにお手伝いしていきたいと思っています。

